

〔 横浜能楽堂 〕
平成 26 年度業務報告及び収支決算
〔 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 〕

- ※ 文中の事業欄において、
●：主催事業。○：共催事業
を示します。
- ※ 文中の達成指標、達成状況欄において、
□：定量的指標。■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜能楽堂
所在地	横浜市西区紅葉ヶ丘 27-2
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上 2 階地下 2 階建
敷地・延床面積	建築面積 1,771㎡ 延床面積 5,862.53㎡
開館日	平成 8 年 6 月 28 日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町 2 番地 産業貿易センタービル 1 階
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 24 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

古典芸能の専門施設として「文化芸術による魅力・活力の創出」の役割を果たすために、芸術性の高い事業や国際交流事業の実施により横浜からの芸術創造発信を行いました。また、開館以来目指している「敷居の低い能楽堂」という目的のもと、事業、運営において、市民が気軽に古典芸能に触れる機会を様々な展開し、市民が豊かな創造性をはぐくむ取組みを推進しました。

(2) 26年度の業務の方針及び達成目標の総括

① 事業の総括

新しい切り口での「暗闇で聴く古典芸能」や、国際交流事業として「日本・スイス国交樹立 150 周年記念『和洋の室内楽 音の階調』」、そして芸術性が高く評価され文化庁芸術祭大賞を受賞した「琉球舞踊 古典女七踊」など古典芸能を再創造するという点で注目度の高い事業を行いました。また、普及事業として「横浜狂言堂」「親子能楽ワンダーランド」「バリアフリー能」など社会的意義の高い事業を着実に実施し、古典芸能のすそ野拡大にも努めました。

② 運営の総括

施設見学、施設利用など柔軟に対応し、古典芸能に触れる機会の拡大に努めたほか、東アジア文化都市事業への協力など、横浜能楽堂の存在を発信することにもつながりました。

③ 管理の総括

「安心」「安全」「快適」な施設を提供するために、設備の予防保全や、利用者・来場者の声などに迅速に対応しました。

4 自主事業についての達成状況

(1) 能楽等に関する興味や関心を広げ、理解を深めるための事業について

<p>[目指す成果]</p> <p>敷居が高いと思われがちな能楽等の古典芸能に関する興味や関心を広げ、理解を深めます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>体験・講座などを取り入れた事業から、公演としての質や芸術性の高い事業まで幅広く取組み、古典芸能に関する興味や関心の拡大につながりました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>幅広い層が鑑賞しやすいように条件整備をした「普及公演」を実施します。</p> <p>●「普及公演-横浜狂言堂」</p> <p>毎月第2日曜日に開催 12回</p>	<p>[達成指標]</p> <p>「普及公演-横浜狂言堂」</p> <p>□券売率 65%以上</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□「普及公演-横浜狂言堂」を毎月第2日曜日実施。券売率は 95.6% (88.5%、92.6%、97.9%、89.3%、98.4%、97.9%、97.1%、97.9%、97.7%、97.3%、95.3%、97.7%)</p> <p>狂言2曲+演者によるお話という内容と、手頃なチケット代金で、初めての方にも気軽に楽しんでいただける公演としました。お客さまに御自身のチケットと一緒にもう一枚分のチケット代金をお支払いいただくと、児童養護施設にいる子どもたちが公演を鑑賞できる「もう一枚のチケット」プロジェクトを実施し、19人の子どもが狂言を鑑賞しました。</p>

<p>●「普及公演-バリアフリー能」 1回</p>	<p>「普及公演-バリアフリー能」 □券売率 50%以上</p>	<p>□「普及公演-バリアフリー能」3月21日実施。無料介助者チケットを含め券売率 76.3% (介助者チケット分を除くと 56.8%)。</p> <p>事前に「聴覚障がい者向け」と「視覚障がい者向け」の見学を行ったほか、当日実際お客様を迎えるスタッフを対象に、初めて「精神障がい」の方を迎えるための研修を行い、実際当事者の方々に楽しんでいただくにはどうしたらよいか、見識を深めました。そのほか、これまでの介助者1名無料、点字解説文、点字チケット、点字チラシの用意、舞台触図、副音声（同時解説放送）、解説時の手話通訳、詞章の用意等のサポートに加え、当日の文字配信について、メガネ型の「ウェアラブル端末」を使用しての配信を導入し、公演終了後の「聴覚障がい者の方の意見交換会」で、ご意見を伺うことができ、今後のよりバリアフリーなサポート検討につながりました。</p>
<p>●「普及公演-夏休み親子能楽ワンダーランド」 1回</p>	<p>「普及公演-夏休み親子能楽ワンダーランド」 □券売率 65%以上</p>	<p>□「普及公演-夏休み親子能楽ワンダーランド」7月27日実施。券売率 91.2%</p> <p>午前中の第1部を体験型、午後の第2部を鑑賞型とし、悲しい場面、激しい場面など見どころがたくさんある能「船弁慶」と小学6年生の教科書にも掲載されている狂言「柿山伏」を1977年生まれの若手能楽師で構成するグループ「七拾七年会」の出演で上演しました。第1部は能と狂言の動きや発声と4つの楽器を体験しました。第2部の冒頭にもミニワークショップを実施したり、工作コーナーで手作りした数珠を使ってみたり、公演により親しんでもらう工夫を凝らしました。写真撮影コーナーや工作コーナーなどを設置し、一日丸ごと能楽に親しめる機会とすることができました。</p>
<p>現代を代表する演者が出演する芸術性の高い「特別公演」の実施 ●「特別公演」 2回</p>	<p>「特別公演」 □券売率 65%以上</p>	<p>□特別公演 4月12日、2月21日実施。</p> <p>特別公演においては、横浜ベイホテル東急との協力によるお食事つき・能楽堂までの送迎つきチケットも好評をいただきました。</p> <p>・4月12日実施。券売率 90.9%</p> <p>金春流の本田光洋、櫻間金記のシテ方二人が猩々をつ</p>

<p>芸術性・学術性があり創造・発信性の高い「企画公演」、アジアを始めとした海外との古典芸能分野での国際交流事業を実施します。財団所管施設とも連携して実施します。</p> <p>●企画公演「明治八年 能楽の曙光」1回</p> <p>●企画公演「暗闇で聞く古典芸能」1回</p> <p>●企画公演「琉球舞踊 古典女七踊」1回</p>	<p>□各公演とも券売率 65%以上</p>	<p>とめ同じ装束で激しく舞う「乱一双之舞」を上演。この演目でこのお二人が顔を合わせるのは19年ぶりで、同門の二人ではありますが、芸風の違いがあり、見ごたえのある舞台となりました。</p> <p>・2月21日実施。券売率90.1%</p> <p>観世流において長いこと演じられなくなっていた能「綾鼓」を約600年ぶりに復曲上演。現存最古の謡本をもとに、シテ方観世流の浅見真州が台本作成、演出し、研究者の監修も入り、能楽ファンにお楽しみいただいただけでなく、歴史的な観点でも価値のある舞台となりました。</p> <p>□企画公演「明治八年 能楽の曙光」</p> <p>12月23日実施。券売率91.8%</p> <p>横浜能楽堂の舞台として使われている「旧根岸能舞台」が建てられた明治8年。この年が、明治維新後衰退していた能楽界に復興の光が見えてくる公演が上演された年でもあることに着目し、当時演じられた演目を上演。合わせて特別展「番組でみる明治の能楽」も開催し、この140年を振り返るとともに、今後の能楽界を予見していただける公演となりました。</p> <p>□企画公演「暗闇で聞く古典芸能」</p> <p>6月21日実施。券売率95.9%</p> <p>初めての試みとなる企画。“聴く”ということに焦点をあて、暗闇という耳を研ぎ澄ます環境の中で、古典芸能の中でも『謡』や『語り』『唱え』などをじっくりとお楽しみいただくことができました。</p> <p>□企画公演「琉球舞踊 古典女七踊」</p> <p>11月1日実施。券売率89.5%</p> <p>琉球の七つの古典女踊を一举上演。一举に上演されるだけでなく、琉球舞踊を代表する7人の演者が一堂に会するというので、他に例を見ないぜいたくな舞台となりました。</p> <p>この公演は文化庁芸術祭に参加し、関東参加公演の部舞踊部門で大賞を受賞しました。</p>
---	------------------------	---

<p>●日本・スイス国交樹立 150周年記念</p> <p>横浜能楽堂・横浜みなと みらいホール共同企画 公演「和洋の室内楽 音 の階調(グラデーショ ン) 深海さとみ・藤原 道山+スイス・ロマン ド管 SP」</p> <p>公演とは違った形で古典 芸能を楽しめる「講座」の 実施</p> <p>●「梅若玄祥のスリーステ ップで学ぶ能」1回開催</p>	<p>「梅若玄祥のスリーステッ プで学ぶ能」</p> <p>□券売率 65%以上</p>	<p>□日本・スイス国交樹立 150周年記念</p> <p>横浜能楽堂・横浜みなとみらいホール共同企画公演 「和洋の室内楽 音の階調(グラデーション) 深海 さとみ・藤原道山+スイス・ロマンド管 SP」</p> <p>7月6日実施。 券売率 90.9%</p> <p>日本・スイス国交樹立 150周年にあたることから、ス イスを代表する名門オーケストラであるスイス・ロマ ンド管弦楽団のメンバーと、箏や尺八の名手の出演に より、和と洋の音が融合した近代の名曲を演奏いた できました。最後には、箏、尺八、フルート、弦楽四重 奏そして、京都上七軒の芸妓さん、舞妓さんを加えた 出演者全員で「祇園小唄」を演奏。駐日スイス大使に もご臨席賜り、たいへんお喜びいただくことができま した。お客様からは「能舞台と邦楽、洋楽器のコラボ レーションに感動した」との声を多くいただきました。</p> <p>□伝統組踊保存会提携公演「能の五番 朝薫の五番」</p> <p>1月17日実施。券売率 89.3%</p> <p>共にユネスコの「世界無形遺産」に指定されている能 と沖縄の組踊。組踊の中でも能の物語や技能を取り込 み、玉城朝薫が作った「朝薫の五番」という作品群を そのゆかりの能五番とそれぞれ組み合わせ、5年間に 渡って上演する企画の1回目の公演。1年目にふさわ しく、お客様からは「能と組踊それぞれの熱演による 斬新さがあり、今後が待ち遠しい」とのお声をいた だける舞台となりました。</p> <p>□講座「スリーステップで学ぶ能」</p> <p>9月19日実施。券売率 96.1%</p> <p>今年度からの新規事業で、鑑賞だけでなく、もっと学 びたい・知りたいという方々に向け、源氏物語『葵巻』、 能『葵上』を題材に、三田村雅子氏、馬場あき子氏、 梅若玄祥氏それぞれの講座を聞いた後、最後に能「葵 上」を鑑賞するという内容。能のシテである梅若玄祥 氏に講座講師を務めていただき「演者の立場からのお 話が聞けるのは貴重」と好評で、能への理解を深め、 充実した1日を過ごしていただく催しとなりました。</p>
--	--	---

<p>自らが体験する「教室・ワークショップ」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「こども狂言ワークショップ～入門編（全3日）」1回 ●「こども狂言ワークショップ～卒業編」（稽古全10回）」1回 ●「横浜こども狂言会」1回 ●「初めての能楽教室シリーズ『謡仕舞』『小鼓』『大鼓』（稽古全10回+発表会）」1回 	<p>□各教室・ワークショップとも参加定員の80%以上</p> <p>こども狂言ワークショップ～入門編</p> <p>□16名以上</p> <p>初めての能楽教室</p> <p>□3教室計35名</p>	<p>□こども狂言ワークショップ～入門編</p> <p>8/3-5実施。27名参加。定員の90%</p> <p>□「こども狂言ワークショップ～卒業編」</p> <p>1/7-3/29 全10回実施。6名参加。</p> <p>□「横浜こども狂言会」</p> <p>3/29実施。</p> <p>□「初めての能楽教室シリーズ」は「謡仕舞教室」「小鼓教室」「大鼓教室」10月～1月稽古、2月1日3教室合同発表会実施。</p> <p>3教室計44名参加。（謡仕舞20名、小鼓12名、大鼓12名）参加率100%。</p>
---	---	---

(2) 横浜能楽堂及び能楽等に関する情報の提供について

<p>[目指す成果]</p> <p>公演情報を収集・提供し、横浜能楽堂や古典芸能の認知度を高めます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>広報媒体への働きかけや、ブログ・ツイッター、インターネット動画配信など、様々なツールを使った広報展開で能楽堂を知り、足を運んでいただく取組みを行いました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公演情報等の収集・提供 ●ブログ・ツイッターの活用 ●ニコニコ動画の活用 	<p>[達成指標]</p> <p>□新聞、雑誌への記事掲載年間24回</p> <p>□ブログ年間24回更新、ツイッター月15回以上ツイート</p> <p>■公演の実験中継を実施し、直接来られない方へ認知度を高めます</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□新聞への記事掲載年間41回（月平均3回）。</p> <p>□ブログ年間24回更新。</p> <p>twitter月平均22ツイート（年間計259ツイート）</p> <p>■ニコニコ動画で横浜狂言堂の生中継を5回実施しました。昨年度に引き続き普段能楽堂に足を運ばない、新たな層にもアプローチすることができました。視聴者同士でコメントをしながら視聴できるという、新しい狂言の鑑賞スタイルを提供でき、気軽に狂言を楽しめる場として活用できました。</p> <p>（年間視聴者数5,091人、1回あたり平均視聴者数1,018人）</p>

<p>●国内外の古典芸能の現状等を現地に赴き、文化・観光の視点からも調査</p>	<p>□今後の事業企画のための基礎調査として国内1か所、海外1か所調査し、今後の事業に生かします。</p>	<p>□ベトナム、台湾、ニューヨーク、沖縄で調査を行いました。</p> <p>ベトナムでは、25年度に横浜能楽堂で行った国際交流事業に注目していただき、出演者である雅楽の演奏者が「フェ・フェスティバル」に招へいされました。公演のほかワークショップも行い、今後の交流にもつながる活動ができました。</p> <p>台湾では、「台湾文化スポットプロジェクト」への参加要請があったことから、同プロジェクトと協働による事業実施の可能性の調査及び台湾の伝統芸能の視察・関係者との打合せを実施しました。今後さらに共同制作の可能性を進めていきます。</p> <p>ニューヨーク、沖縄では次年度に予定しているジャパンソサエティ共催事業の事前調査のほか、事業関係者との打合せや今後の企画の参考のための視察を行いました。</p>
<p>●調査研究の成果を基礎にした展示の開催</p>	<p>□特別展を1回開催します。</p>	<p>□特別展「番組でみる明治の能楽」12/23-2/8実施。</p> <p>企画公演「明治八年 能楽の曙光」の開催に合わせ、明治初期、能楽に再興の兆しが見え始めてきた時期に各所で演じられた番組や能楽師等を紹介しました。番組から読み取れる明治能楽界の衰退と再興の歴史、活躍した名人をパネルを交え紹介し、公演をより深く理解する機会を提供することができました。</p>

(3) 能楽等の公演、練習その他の活動の支援について

<p>[目指す成果]</p> <p>利用者の公演事前準備や稽古場探し等の活動を支援することで、古典芸能の振興・普及を促します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>能楽堂利用に対するサポートや、古典芸能に関する催しの実施へのアドバイス・運営協力など、専門性を発揮しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>●「施設を利用したい」「稽古をしたい」「公演・ワークショップを開催したい」という利用者の「実現したい」をサポート</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■スタッフのノウハウを活用した『利用者サポート』を実施します。(公演事前準備支援、公演等制作支援、稽古場探し支援など)</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■広報やオペレーションのアドバイスや情報提供、能楽ではないジャンルで初めて能舞台をご利用の方向けに進行のサポートなどを実施しました。</p> <p>■「狂言鑑賞会」のための事前見学会や当日の運営協力、東アジア文化都市事業での「中国泉州市芸術団公演」での事前相談、当日進行協力など、スタッフのノウハウを大いに活用することができました。</p>

(4) 能楽等に関する地域との連携事業について

<p>[目指す成果]</p> <p>地域団体等と連携しながら公演を行うことで、古典芸能の活性化を促します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>横浜市内の能楽愛好団体との連携や、能公演実施の連携など、古典芸能の活性化に寄与したほか、視察や見学の積極的な受入れ、周辺イベントの参加など、よりいっそう能楽堂を知っていただけるよう取り組みました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>地元企業・実演家・関連団体・地域団体等と連携した事業実施</p> <p>○横浜能楽連盟と協力して「横浜能」を開催します。</p> <p>○ふるさと西区実行委員会と協力して「かもんやま能」を開催します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>○1回</p> <p>○1回</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□「第62回横浜能」を6月14日実施。券売率95.5%。横浜能楽連盟との共催。</p> <p>喜多流の名手・栗谷能夫のシテによる能「頼政」と、人間国宝の野村万作による狂言「寝音曲」を上演しました。</p> <p>□「第31回横浜かもんやま能」11月22日実施。ふるさと西区推進委員会、西区役所との共催。今年、西区制70周年ということで、井伊直弼作の狂言「鬼ヶ宿」と井伊直弼の発案でつくられたと言われる小書つきの「竹生島 女体」を上演し、地域の方々にお楽しみいただきました。</p> <p>10月23日に市立東小学校で実施された関連出前講座に協力しました。</p> <p>■一般社団法人伝統組踊保存会との提携で1/17「能の五番 朝薫の五番」実施（再掲）</p> <p>■昨年度に引き続き、横浜国立大学による学校における能楽教材製作のため撮影協力（2事業）を行いました。今後の事業や運営に生かすなど活用の可能性を視野に、映像資料として提供いただきました。</p> <p>■みなとみらい地区で働く方々で構成される「MMcc（みなとみらいコミュニティクラブ）」向けの施設見学会を1/23実施。130名程の方々に参加いただき、その後の券売等にもつながりました。</p> <p>■西区区制70周年を記念したスタンプラリーに参加し、能楽堂をあらためて知っていただく機会となりました。</p>

(5) その他について

- ・フェ・フェスティバル参加
- ・文化庁芸術祭舞踊部門大賞受賞（「琉球舞踊 古典女七踊」）
- ・横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業実施
- ・アーツ・マネジメント研修派遣受入れ
- ・東アジア文化都市事業への協力

[実施内容]

- 25年度に開催した、日本・ベトナム外交関係樹立40周年記念特別企画公演「再びの出会い 二つの国の雅楽」の企画内容がベトナムでも注目され、2年に一度開催されるフェ・フェスティバルに出演者が招へいされ、公演のほか、ワークショップも実施し、今後の文化交流につながるものとなりました。また、横浜での企画が招へいされ、発表の場をいただいたことで、横浜からの芸術創造発信になったといえます。
- 11月に開催した、琉球の七つの古典女踊を、琉球舞踊を代表する7人の演者が一堂に会し上演したこの公演で、文化庁芸術祭舞踊部門の大賞を受賞しました。これまで取り組んできた日本の古典芸能の一つである「琉球芸能」の企画や芸術性が評価され、事業の成果をあげることができました。さらに琉球芸能が同賞を受賞するのが初めてということで、“「琉球芸能 初の芸術祭大賞」を祝う会”が沖縄で開催され、琉球芸能の発展に貢献できるものになりました。
- 横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業として小学校3校にアウトリーチ事業を行い、のべ6日間、小学校6年生228人が参加しました。小学6年生の国語教科書に狂言「柿山伏」が教材として取り上げられていることもあり、狂言の鑑賞や体験の要望が多くなっていることから取り組みを行ったもので、本物の狂言をこどもたちに体験いただくことができました。
- 10月から3月まで、沖縄県のアーツマネジメント研修者を受け入れました。これは、将来沖縄の文化産業・文化観光推進に資する人材を育成するために県内外の文化施設等に人材を研修派遣させるという沖縄県の事業で、能楽堂がかねてより琉球舞踊を広く紹介する取り組みを行っていることから、受入れ先として依頼があったもので、広くアーツマネジメント人材の育成に寄与することができました。
- 東アジア文化都市事業として、横浜能楽堂において「中国泉州市芸術団公演」が行われました。糸操り人形劇、ポテヒ、高甲伝統劇など、能舞台で初めて演じるものもあったことから、舞台の使い方、進行や演出的な部分まで、全面的に協力を行いました。来場者はもちろん、出演者にとってもお楽しみいただける内容となりました。

5 施設の運営について

(1) 人員配置

[取組内容]	[達成指標]			[実施内容と達成状況]	
	項目	人数	備考	名誉館長	1
	名誉館長	1	非常勤	館長	1
	館長	1		チームリーダー	1
	チームリーダー	1	副館長	事務職員	6
	事務職員	5		補助職員	18
	補助職員	18	B1 事務所補助職員 2、1F 受付 16		

(2) 勤務体制

[取組内容] 基本名誉館長、館長を除き、ローテーション体制主催事業や貸館内容に応じて、勤務体制を調整し、柔軟に対応します。	[達成指標]		[実施内容と達成状況]	
	館長	9:30～18:15	館長	9:30～18:15
	チームリーダー、事務職員		チームリーダー、事務職員	A 勤務 8:45～17:30 B 勤務 13:30～22:15
	A 勤務	8:45～17:30	補助職員(B1事務所)	A 勤務 8:45～17:15 B 勤務 13:45～22:15
	B 勤務	13:30～22:15	補助職員(1F受付)	A 勤務 8:55～14:40 B 勤務 14:30～20:15
	補助職員(B1事務所)			
	A 勤務	8:45～17:15		
	B 勤務	13:45～22:15		
補助職員(1F受付)				
A 勤務	8:55～14:40			
B 勤務	14:30～20:15			

(3) 能楽等の公演、練習その他の活動への施設の提供について

[取組内容] ●能舞台の制約を守りながら、能楽以外（琉球芸能・邦楽・日本舞踊等）での利用にもできるかぎり施設を提供します。 ●業務の基準に基づき、開館時間・利用料金の徴収・施設点検日の周知を行います。	[達成指標]		[実施内容と達成状況]	
	■能楽以外での利用にもこまやかに対応できるように相談窓口機能を強化します。	■業務の基準に基づき業務を行います。	■東アジア文化都市関連事業「中国泉州市芸術団公演」での貸館において、舞台利用、進行、演出面の運営全般にわたり全面的にサポートを行いました。 ■狂言鑑賞会開催の相談や運営サポートを行ったほか、横浜狂言堂2月公演で『街コン』イベントへの協力を行いました。	

(4) 利用促進及び利用者サービスの向上について

<p>[目指す成果]</p> <p>利用者サービスの向上につとめ、利用を促進します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>利用申込期限を過ぎてからの利用受付や、当日空いていれば1時間利用を受け付けるなど柔軟に対応し、利用促進に努めました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>●利用率向上のため、利用申込への柔軟な対応を行います。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>目標利用率</p> <p>□本舞台(日)30%</p> <p>□第二舞台(日)70%</p> <p>□研修室(コマ)30%</p> <p>□楽屋(コマ)25%</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□本舞台(日)39.0%</p> <p>□第二舞台(日)58.8%</p> <p>□研修室(コマ)28.6%</p> <p>□楽屋(コマ)24.5%</p> <p>本舞台と第二舞台の二つの舞台を持つ能楽堂は全国でも数少なく、当能楽堂では能舞台の利用が分散されてしまうことが第二舞台の利用率未達の要因となっています。</p> <p>そのため利用申込受付期限を過ぎてからの利用希望や、能楽以外の利用希望に関してなど、できるかぎり柔軟に対応しました。</p> <p>(受付期限を過ぎてからの受付数:本舞台9件、第二舞台22件)</p>

(5) 組織的な施設運営について

<p>[取組内容]</p> <p>●施設の使命、ならびに第2期指定管理期間の政策目標を達成するために、適切な経営組織を構築と人材の確保に努めます。</p> <p>●配置されている職員ならびに補助職員については、業務を通じたOJTならびに研修等を通じてスキルアップを図ります。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□専門性向上のための研修を年1回以上行います。</p> <p>□「バリアフリー能」研修を年1回行います。</p> <p>■事業企画・実施、利用者対応・サービス、施設維持管理につき、体制の維持向上により質の高い施設運営を行います。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□「能装束講座」3回実施</p> <p>常設展の能装束の入替に合わせ、能装束研究者であり、能装束復元も行っている、山口能装束研究所の山口憲氏より、能装束からみる能の歴史など、興味深い話をお聞きし、能楽の知識を深めることができました。</p> <p>□「バリアフリー研修」3月9日実施。</p> <p>「特定非営利活動法人共に歩む市民の会 旭区地域生活支援拠点ほっとぽっと」の方3名を講師に迎え、精神障がいへの理解を深めました。特に講師の中には精神障がいをお持ちの当事者もいらっしゃり、一緒にお話をする中で特別なサポートというよりは、柔軟に対応するのが良いということを学ぶことができました。</p> <p>■新採用、新配属者への研修</p> <p>運営マニュアル等を基に、業務やコンプライアンス等の研修を行ったほか、業務を通じたOJTによりスキルアップを図れる環境づくりに努めました。</p>
---	---	---

(6) 施設見学等への対応について

<p>[目指す成果] 施設見学を通じ、横浜能楽堂や古典芸能について周知を図ります。</p> <p>[成果についての振り返り] 定期的な施設見学日や、学校関係の見学受入れ、海外からの視察など、横浜能楽堂及び古典芸能の周知や継承につながるよう取り組みました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設見学日を定期的に設けます。 ●教育機関対象に減免制度を設け、施設見学を利用しやすい環境を調えます。 	<p>[達成指標]</p> <p>□施設見学日を月に1回開催します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□毎月1回施設見学日を開催。12回実施。</p> <p>□学校関係の見学を7件(見学科減免)受け入れたほか、見学科やグッズ代として料金をいただく有料見学科を6件受け入れました。また、クルーズ会社港湾局(クルーズ会社)からの視察依頼2件にも対応しました。</p>

(7) 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減や効率的運営の努力について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●助成金等獲得努力 ●事務経費削減の努力 	<p>[達成指標]</p> <p>□助成金獲得に向け申請手続きを行います。 獲得目標 200万円</p> <p>■チラシの作成枚数を常に精査するなど、高い意識を持ち常に経費削減に努めます。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■沖縄県酒造組合から公演レセプションで提供する酒類の現物協賛を受けました。</p> <p>□助成金獲得700千円。自主財源率を高めるため、広報等をきめ細かく行いチケット券売に注力しました。</p> <p>■他機関(一般社団法人伝統組踊保存会)との提携公演を行うなど、事業費の負担が少なく質の高い事業を実施する工夫を行いました。</p>
---	--	---

利用状況等について

横浜能楽堂	26年度	
	稼働率	利用者人数
本舞台	39.0% (40.5%)	22,375人
第二舞台	58.8% (32.1%)	4,794人
その他		22,587人
合計		49,756人

※稼働率：日にち単位(時間帯単位)

6 施設の管理について

(1) 保守管理業務について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ● 設備機器の稼働状況を観察しつつ、トラブルを未然に防ぐよう定期点検を実施します。 ● 施設修繕の計画的な実施に努め、施設、設備の長寿命化を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務の基準に基づき保守点検を実施します。 □ 過失事故 0 件 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 年間を通じ定期的な保守点検を実施しました。 □ 過失事故0件。経年劣化にともなう空調設備の停止事案が3回発生しましたが、施設運営・利用には支障のないよう対応しました。その後、横浜市による設備更新を実施していただきました。 ■ 施設修繕の計画的な実施を行いました。大規模案件については、文化振興課との情報共有に努めました。

(2) 環境維持管理業務について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ● 施設の状態を清潔に保ち、利用者が快適に利用できるように管理を行います。 ● 施設周辺に配慮した植栽管理業務を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務の基準ならびに別添資料に定められた項目につき、定められた回数の清掃等の維持管理業務を遺漏なく実施 □ アンケートでの快適評価 4.0 以上 □ 施設ハード面での人身事故ゼロ 	<ul style="list-style-type: none"> □ アンケートによる平均評価は4.43でした。 □ ハード面での事故ゼロでした。

(3) 保安警備業務について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ● 業務の基準ならびに別添資料に基づき、24 時間警備を実施し、利用者の入退出を適切に管理します。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 事故ゼロ 	<ul style="list-style-type: none"> □ 事故ゼロ

(4) 駐車場管理業務について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●業務の基準ならびに別添資料に基づき、施設利用者、近隣住民の安全管理のため、駐車場利用車両の安全誘導に努めます。 ●業務の基準に基づき保守点検を実施します。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> □駐車場事故ゼロ □保守点検 年1回以上 	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> □駐車場事故ゼロ □機械式駐車場について、最低限の機能維持点検を行うためにはメーカーの「臨時総合点検（1日以上稼働点検）」が必要ですが、26年度は未実施のため、保守点検の実施を見合わせました。
---	---	--

(5) 防災等について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●関連法規に基づいた届出等を行います。 ●「危機管理マニュアル」に基づき、災害時に観客を安全に誘導できるようなスタッフの消防訓練を行います。 ●西消防署と協定に基づき連携して防災に取り組みます。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> □消防訓練 年2回実施 □消防設備の取り扱い研修 年2回実施 	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> □消防訓練7/30、1/27に実施。併せて消防機器の取り扱い方法について研修を実施しました。
---	---	---

(6) 緊急時の対応について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●訓練等を通じ全スタッフに対応の徹底を図ります。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■関連法令、条例、業務の基準等に基づき、適切に対応します。 □(再掲)消防訓練 年2回実施 	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■関連法令、条例、業務の基準等に基づき、適切に対応しました。 □7/30、1/27に実施。併せて消防機器の取り扱い方法について研修を実施しました。(再掲)
--	--	---

(7) 文化財の保護について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>● スタッフによる日常点検を行い、必要に応じて建築時に携わった日本建築専門業者による簡易点検を実施し、修繕を行う必要が生じた場合は横浜市と協議します。</p>	<p>■ 業務の基準に従い適切に管理します。</p> <p>■ 日常点検 随時</p> <p>■ 専門業者による簡易点検 日常点検等において必要と認められた時</p>	<p>■ スタッフによる日常点検を行ったほか、5/2に12条点検を実施しました。</p>

(8) 公園事務所、公園用公衆便所の取扱いについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>● 公園事務所の鍵の管理及び公園用公衆便所の光熱水費の一時負担</p>	<p>■ 業務の基準に従い取り扱います。</p>	<p>■ 業務の基準に従い取り扱いました。</p>

(9) 広域避難場所用機材倉庫及び町内会等地域の災害対策用倉庫の取扱いについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>● 広域避難場所用資機材倉庫及び町内会等地域の災害対策用倉庫の鍵の管理</p>	<p>■ 業務の基準に従い取り扱います。</p>	<p>■ 業務の基準に従い取り扱いました。</p>

(10) 光熱水費の削減努力について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>● 光熱水料費等の削減に努めます。</p> <p>● 日々の業務遂行上、常に高い意識で無駄の無い運営を心がけます。</p>	<p>■ 業務の基準に従い適切に管理します。</p> <p>□ 電気使用量指定管理 1 年目以下。</p>	<p>■ 業務の基準に従い取り扱いました。</p> <p>□ 電気使用量 390,989Kwh (対24年度0.12%増)</p>

7 PDCA サイクルの確実な運用

(1) 業務記録について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●日報及び月報の作成・管理	<ul style="list-style-type: none"> ■業務日誌、月報、警備日誌、清掃日誌等を作成し記録します。 ■上記資料をもとに、モニタリング時に適切に対応します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■業務日誌、月報、警備日誌、清掃日誌等を作成し記録しました。 ■上記資料をもとに、モニタリング時に適切に対応しました。

(2) 業務計画書及び業務報告書の作成・管理について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●業務計画書及び業務報告書を作成し管理します。	■業務の基準に従い作成、管理します。	■業務の基準に従い作成し、管理しました。

(3)-1 業務評価（モニタリングの実施）について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●毎月のモニタリングにおいて、利用状況、施設管理状況、問い合わせ・苦情等、毎月の管理運営状況について市に報告します。	<ul style="list-style-type: none"> ■業務の基準に従い実施します。 ■横浜市と課題ならびに成果を共有します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■業務の基準に従い実施しました。 ■横浜市と課題ならびに成果を共有しました。

(3)-2 業務評価（自己評価の実施）について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●業務実績および利用者の満足度や意見を基に自己評価を行います。	■業務の基準に従い実施し、以降の業務改善につなげます。	■業務の基準に従い実施し、以降の業務改善につなげました。

(3)-3 業務評価（第三者による評価の実施）について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●選定評価委員会による第三者評価に対応します。	■業務の基準ならびに横浜市との協議に基づき実施し、ヒアリングへの出席等を通じ以降の業務改善につなげます。	■業務の基準ならびに横浜市との協議に基づき実施し、ヒアリングへの出席等を通じ以降の業務改善につなげました。

8 その他の計画 留意事項

(1) 保険および損害賠償の取り扱い

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ●施設賠償責任保険、動産総合保険、レジャー・サービス費用保険に加入します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■業務の基準別添資料に基づき、適切に対応します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■業務の基準別添資料に基づき、適切に対応しました。保険を利用する事例はありませんでした。

(2) 法令の順守と個人情報保護

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ●法令を遵守し、個人情報保護に取り組みます。 ●財団主催の個人情報保護研修にスタッフが出席、受講します。 ●財団主催のコンプライアンス委員会に出席、受講します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■横浜市個人情報保護条例等の関係法令、財団規程類、基本協定等に基づき適正に管理します。 □研修出席者は全員に情報を共有します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■横浜市個人情報保護条例に基づき適正に管理・保護に努めました。施設内での研修も実施しました。 ■財団主催の個人情報保護研修をスタッフが受講しました。 ■財団主催のコンプライアンス委員会、コンプライアンス研修にスタッフが出席しました。財団主催のコンプライアンス研修は全員が受講しました。

(3) 情報公開への積極的取り組み

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ●事業計画や記者発表資料などを財団ホームページにて公開します。 ●情報開示請求については、財団の規程に従い、担当部署を通して対応します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■横浜市の保有する情報の公開に関する条例の趣旨に則り、規程類、基本協定等に基づき適正に取り組めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ■横浜市の保有する情報の公開に関する条例の趣旨に則り、規程類、基本協定等に基づき適正に取り組めました。 ■情報開示請求はありませんでした。

(4) 市及び関係機関等との連絡調整

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ●市及び関係機関等との情報交換や業務の調整に努めます。重要な案件・緊急な案件については、随時横浜市・財団事務局に報告・協議し、適切な処理を心がけます。 	<ul style="list-style-type: none"> ■業務の基準、基本協定等に従い、適切に対応します。 ■市の要求に応じた資料の提出等 随時 	<ul style="list-style-type: none"> ■業務の基準、基本協定等に従い、適切に対応しました。 ■市の要求に応じて資料を随時提出しました。 ■周辺でのイベントや自主事業のほか、消防訓練等で、戸部警察署、西消防署と連絡を密にとりました。

(5) その他

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●適切な許認可及び届出等 ●施設の目的外使用 ●名札の着用 ●人権の尊重 ●近隣対策 ●書類の管理 ●行政機関が策定する基準等の遵守 ●法律の制定及び改正への対応 	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準に基づき適切に対応します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■業務の基準に基づき適切に運営を行いました。</p>
--	--	--

9 収支決算額について

収支決算書

(単位：円)

項目	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
指定管理料収入	175,263,000	175,263,000	0	
利用料金収入	14,400,000	13,494,520	▲905,480	
事業収入	36,091,000	41,896,089	5,805,089	
その他収入	2,186,000	1,464,457	▲721,543	
合計	227,940,000	232,118,066	4,178,066	

支出				
人件費	82,033,000	68,093,768	▲13,939,232	
管理費	70,277,000	65,727,880	▲4,549,120	
事業費	57,240,000	61,207,069	3,967,069	
事務費	18,390,000	19,376,210	986,210	
合計	227,940,000	214,404,927	▲13,535,073	

収支差額 (収入-支出)	0	17,713,139	17,713,139	
---------------------	----------	-------------------	-------------------	--